

平塚市行政改革推進委員会（事業評価）の結果について

区分	施設				
施設名	青少年会館			所管課	青少年課
評価結果	施設の総量・配置			施設の管理運営手法	
	見直しが必要			見直しが必要	
評価内訳	廃止	見直しが必要	現状維持	見直しが必要	現状維持
	0	6	0	6	0
傍聴者数	36	ネット中継 視聴者数	12		

※「傍聴者数」「視聴者数」は、開始後10分経過時点の状況を記載しています。

事業評価シートの記載内容

委員長	施設の総量・配置	「見直しが必要」-「総量減少」-「他の機能を有する施設と統廃合する」
	施設の管理運営手法	「見直しが必要」-「管理運営手法の見直し」-「指定管理者制度を導入する」 -「受益者負担の適正化」-「使用料を新設する」 -「開館日・時間の見直し」-「開館日・時間を拡大する」
<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労会館のコメントに含む ・ 開館日・時間を夜に拡大し、仕事終了後に利用できるようにする。 		
副委員長	施設の総量・配置	「見直しが必要」-「総量減少」-「他の機能を有する施設と統廃合する」
	施設の管理運営手法	「見直しが必要」-「受益者負担の適正化」-「使用料を新設する」
<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ施設（体育館など）とあわせて統廃合し、新設を考えてほしい。習い事をする場所は、勤労会館と統合も可能。青少年に限定する必要はない。 ・ 使用料は、目的や対象（子どもは無料）で決める。 		
A委員	施設の総量・配置	「見直しが必要」-「総量減少」-「他の機能を有する施設と統廃合する」
	施設の管理運営手法	「見直しが必要」-「受益者負担の適正化」-「使用料を新設する」 -「利用条件の見直し」-「利用対象者を拡大する」
<ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリーを含めた耐震補強を早急に実施してほしい。但し統廃合も考える。 		
B委員	施設の総量・配置	「見直しが必要」-「総量減少」-「他の機能を有する施設と統廃合する」
	施設の管理運営手法	「見直しが必要」-「利用条件の見直し」-「利用対象者を縮小する」
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般団体の利用が多く、サークルや趣味の場となっている。青少年単独での施設の存在意義は薄れているのではないか。趣味のための場は、すでに他施設での利用が可能であろうし、指導者育成も場所の確保はできそうである。 ・ 体育館、音楽室には、替えとなる施設がないかもしれない。単独の場合には、目的に沿って青少年の利用を促進するのが望ましい。 		
C委員	施設の総量・配置	「見直しが必要」-「総量減少」-「他の機能を有する施設と統廃合する」
	施設の管理運営手法	「見直しが必要」-「利用条件の見直し」-「利用対象者を縮小する」
<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労会館と同じコメント 		
D委員	施設の総量・配置	「見直しが必要」-「総量減少」-「他の機能を有する施設と統廃合する」
	施設の管理運営手法	「見直しが必要」-「受益者負担の適正化」-「使用料を新設する」 -「利用条件の見直し」-「その他（平塚市民なら誰でも平等に）」 -「開館日・時間の見直し」-「その他」
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域公民館の充実度等もあり、中央の会館としてやっていくことを整理して、必要な施設に改修又は統合していけば不便はないと思います。 		